平成２７年度　国立江田島青少年交流の家教育事業

野外活動指導者養成講座実施報告書

【趣　　旨】　青少年団体指導者及び野外活動に関心を持つ青年などが，野外活動に必要な知識・技術について研修し，指導者としての実践力を身に付ける。（指導者養成編）
　小学生を対象としたプログラムを企画・運営することを通して，子どもとの関わり方を学び，指導者としての資質を向上する。（活動実践編）

【主　　催】　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立江田島青少年交流の家

【期　　日】　①指導者養成編
第１回　平成２７年　６月　６日（土）～　６月　７日（日）　（１泊２日）
第２回　平成２７年　６月１３日（土）～　６月１４日（日）　（１泊２日）
第３回　平成２７年　６月２７日（土）～　６月２８日（日）　（１泊２日）
②活動実践編
第１回　平成２７年１０月１７日（土）～１０月１８日（日）　（１泊２日）
第２回　平成２７年１１月２１日（土）～１１月２３日（月･祝）（２泊３日）
第３回　平成２７年１１月２８日（土）

【会　　場】　国立江田島青少年交流の家

【対　　象】　青少年団体指導者，野外活動に関心がある青年等

【参加者数】　①指導者養成編１３人　②活動実践編１０人

【講　　師】

ＮＰＯ法人　ひろしまレクリエーション協会	会　長	鍋島一仁
広島大学大学院教育学研究科	准教授	米沢崇
まなび工房	代表	堀江清二
はつかいちキャンプ協会	会長	小田長
大柿自然環境体験学習交流館	館長	西原直久
日本赤十字社広島県支部	救急法指導員	伊藤恵美子
国立江田島青少年交流の家	企画指導専門職	

【企画・運営のポイント】
（１）広島大学，広島女学院大学が授業の一環として本事業へ参加しているため，この２大学と連携して事業の企画・広報を行う一方で，一般参加者向けにも対応できるものになるよう計画する。
（２）法人ボランティアの資格が容易に取得できるように，講師等との調整を図り，指導者養成編の第１回目に法人ボランティアのカリキュラムをまとめる。
（３）単なる知識・技能の習得に終わるのではなく，まずは自分が小学生の立場に立って，体験活動等をする。その後身に付けた知識・技術を生かして，実際に小学生を対象としたキャンプを企画・運営することで，指導者としての資質を向上させることをねらう。また，参加者同士の仲間意識の向上をめざし，さらなる資質向上のきっかけづくりとなるようにする。
（４）指導者養成編の最後に，異なる大学の学生で小学生キャンプのグループを編成する。自主的な活動が生まれるよう，活動実践編までの約３か月の間に，各グループの途中経過を報告し合う全体会を２回設定する。
（５）小学生キャンプへ向け，まずは全体の目的をはっきりと決める。そこからずれることがないようにプログラムも決め，各グループの話し合いもそれに向けて目標を設定していくようにする。

【活動の実際】

①指導者養成編

6月6日（土）	10:00 10:30 12:00 13:00 14:30 15:00 20:00 21:00 22:30								
	受付	開講式	アイスブレイク 青少年教育施設の現状と運営Ⅰ［職員］	昼食	ボランティア活動の意義 ［堀江］		野外炊事法・野外炊事演習 ［職員］	青少年教育施設の現状と運営Ⅱ ［職員］	入浴・就寝
6月7日（日）	9:00 12:00 13:00 14:30 16:00								
	朝のつどい・朝食・清掃	救急法 ［伊藤］		昼食	青少年教育施設におけるボランティア活動の理解 ［小田］	青少年教育の理解 ［米沢］	まとめ		

6月13日（土）	10:00 10:30 12:00 13:00 14:00 16:00 17:00 19:00 20:30 22:30									
	受付	オリエンテーション	キャンプの特性 ［鍋島］	昼食	キャンプの歴史・指導者・安全 ［鍋島］	キャンプ用具の使用法とテント技術 ［鍋島］		タベのつどい・夕食・休憩	対象や目的に応じた指導内容と指導技術 ［鍋島］	入浴・就寝
6月14日（日）	9:00 12:00 13:00 16:00									
	朝のつどい・朝食・清掃	キャンプの計画・運営・評価 ［鍋島］		昼食	カッター研修 ［職員］		まとめ			

6月27日（土）	10:00 10:30 12:30 13:30 14:30 16:00 17:00 19:00 20:30 22:30									
	受付	オリエンテーション	海辺の生物観察 ［西原］	昼食	海辺の生物観察 ［西原］	野外活動プログラムの企画・立案① ［職員］		タベのつどい・夕食・休憩	野外活動プログラムの企画・立案② ［職員］	入浴・就寝
6月28日（日）	9:00 12:00 13:00 14:30 15:30									
	朝のつどい・朝食・清掃	野外活動プログラムの企画・立案③ ［職員］		昼食	野外活動プログラムの企画・立案④ ［職員］	まとめ	閉講式			

②活動実践編

10月17日（土）	10:00 10:30 12:00 13:00 16:00 17:00 19:00 21:00 22:30									
	受付	開講式	グループワーク①	昼食	グループワーク②			タベのつどい・夕食・休憩	グループワーク③	入浴・就寝
10月18日（日）	7:10 9:00 12:00 13:00 15:00 15:50									
	朝のつどい・朝食・清掃	グループワーク④		昼食	グループワーク⑤	まとめ	解散			

＊　グループワークは，『小学生キャンプ』のプログラムの企画・立案・準備を行った。

※『小学生キャンプ』は，小学校４～６年生を対象に募集を行った。

11月21日（土）	15:00 17:00 19:00 21:00 22:30									
	受付					準備		タベのつどい・夕食・休憩	準備	入浴・就寝
11月22日（日）	7:10 9:00 10:30 11:00 12:00 13:00 17:00									
	朝のつどい・朝食・清掃	ミーティング準備	受付	開会式 アイスブレイク	昼食	『キャンプ』 活動①		タベのつどい・夕食・休憩	活動②	入浴・就寝
11月23日（月）	9:00 12:00 13:00 14:00 15:50									
	7:10 『キャンプ』					後片付け	まとめ	解散		
	朝のつどい・朝食・清掃	活動③			昼食	閉会式				

網掛け部分で，『小学生キャンプ』を実施した。

11月28日（土）	15:00	16:00		17:00
	受付	グループワーク	まとめ	閉講式

「救急法」

「野外炊事」

「カッター研修」

「キャンプ用具の使用法
とテント技術」

「対象や目的に応じた
指導内容と指導技術」

「野外活動プログラムの企画・立案」

小学生キャンプ
「スタンプラリー」

小学生キャンプ
「キャンプファイアー」

小学生キャンプ
「野外炊事」

【成果】

（１） 小学生キャンプの準備は２つの大学の参加者が一緒になって役割分担し，自主的に集まって話し合いをしたり，ラインを使って情報共有したり，メールを使って担当者に相談をしたりなど，小学生キャンプを成功に導くための努力を惜しまずに行っていた。

（２） 参加者は，指導者養成編で講師から学んだことを忠実に活動実践編の小学生キャンプの企画・運営に生かしていた。また，参加者は様々な努力や工夫をした。小学生の心が揺さぶられるようなキャッチフレーズやキーワード。ハラハラドキドキするようなストーリー性のある展開。その結果，「来年もまた参加したい。」という小学生のうれしい感想があった。参加者は満足していた。

（３） 参加者が企画した『つながるキャンプ』。キャッチフレーズは「みんなで燃やそう・自分のやる気・仲間の絆・なんでも全力・江田島の魅力」。そのキャンプのふりかえりシートに以下のような小学生の感想があった。「スタンプラリー・キャンプファイアー・野外炊事どれも達成感があった。」「キャンプファイアーでみんなと協力することは，一生懸命がんばることだと学んだ。」「スタッフさんが和ませてくれてみんなとも友達になることができた。」このことから意図した目的を達成したことが感じられた。

（４） 活動実践編終了時の満足度は 100％であった。当交流の家で法人ボランティアに登録し，学んだことを生かして実際に活動したい希望をもった者が６名（67％）いた。

【今後の課題】

（１） 指導者養成編と活動実践編の間で，異なる大学の者同士でも２回の全体会と自主的に集まり会を持っていた。それらをさらに効率よく進めるためにも，指導者養成編における，参加者同士のコミュニケーションを深めることが重要になる。アイスブレイクや野外炊事，休憩時間を有効に使うとよい。

（２） 満足度は 100％であったのに，法人ボランティア登録を希望する者が 67％にとどまった。80％を超えるよう声かけ等をしていく必要があろう。また，希望する者にはリレーションシップ事業等にボランティアとしての参加を促し，その中でフォローアップしていく。